

株式会社フィールコーポレーション
インターネットEDI データ項目についての説明
大府ドライTC (米) 取引先向け

平成23年11月26日 初版

平成31年 4月24日 改版

株式会社フィールコーポレーション

伝票区分

コード	内容
20	仕入
30	返品

※返品はEDI対象外となりますので、使用しません。

定番特売区分

コード	内容
1	定番発注
2	特売発注
3	店舗スポット

納入場所指定

コード	内容
0	従来通り
1	低温物流センター
3	ドライセンター
4	チルドセンター
5	小牧センター

便区分

コード	内容
01	1便納品指定
02	2便納品指定

EDI区分

コード	内容
0	ASNデータなし
1	ASNデータあり

DC区分

コード	内容
0	店直
1	センター経由

物流納品区分

コード	内容
01	店直EDI
11	野田彦EDI
21	アクセスEDI
31	菓子TC
32	ドライセンター
91	市場便EDI

コード	内容
1	預かり
2	買取り

総量店舗区分

コード	内容
1	総量納品
2	店別納品

温度区分

コード	内容
0	常温
1	定温
2	冷蔵(5℃)
3	冷凍(-18℃)

発注区分

コード	内容
1	手書き伝票(非EOS)
5	EOS伝票

仕入先訂正理由

コード	内容
ブランク	正常出荷
1	増変更(フィール責任)
2	減変更(フィール責任)
3	該当商品なし(フィール責任)
4	品切れ(ベンダ責任)
5	直納(ベンダ責任)

税区分

コード	内容
1	外課税
2	内課税
3	非課税

伝票形式 出荷データ(EOS)作成時の注意点

■禁則文字について

ファイルレイアウトの文字列項目に以下文字は**禁則文字**となっております。
文字列項目にはセット頂かないようお願いします。

" (ダブルクォーテーション)
' (シングルクォーテーション)
, (カンマ)
< (山形括弧)
> (山形括弧)
{ (中括弧(始))
} (中括弧(終))

■ヘッダ項目設定時の注意点

「伝票番号」 次の値がセットされていると**エラー**となります。
・ブランクがセットされていた場合
・数値化した値が0だった場合
・数値以外の文字列がセットされていた場合

「店舗コード」 店舗マスタに存在しない値がセットされていると**エラー**となります。
[※店舗マスタ⇒P1参照](#)

「分類コード」 分類マスタに存在しない値がセットされていると**エラー**となります。
[※分類マスタ⇒P1参照](#)

■明細項目設定時の注意点

「商品コード」 次の値がセットされていると**エラー**となります。
・ブランクがセットされていた場合
・数値化した値が0だった場合
・数値以外の文字列がセットされていた場合

「単位名称」 全角文字がセットされていると**エラー**となります。

「大分類」 大分類マスタに存在しない値がセットされていると**エラー**となります。

「商品名(カナ)」 全角文字がセットされていると**エラー**となります。

「規格」 全角文字がセットされていると**エラー**となります。

伝票形式 出荷データ(手書)及び、返品データ作成時の注意点

■手書き伝票の伝票番号・採番ルールについて

手書き伝票は"900000001"～"999999999"の範囲で伝票番号を採番してください。

※伝票番号は、3ヶ月間は重複しないように採番してください。

■明細行数について

明細の行数は最大**6行**となります。

明細の行数が7行以上、セットされていると**エラー**となりますので、ご注意ください。

明細の行数は最大**6行**となります。

明細の行数が7行以上、セットされていると**エラー**となりますので、ご注意ください。

■禁則文字について

ファイルレイアウトの文字列項目に以下文字は**禁則文字**となっております。

文字列項目にはセット頂かないようお願いします。

" (ダブルクォーテーション)

' (シングルクォーテーション)

, (カンマ)

< (山形括弧)

> (山形括弧)

{ (中括弧(始))

} (中括弧(終))

■ヘッダ項目設定時の注意点

「伝票番号」 次の値がセットされているとエラーとなります。

・ブランクがセットされていた場合

・数値化した値が0だった場合

・数値以外の文字列がセットされていた場合

「発注年月日」 実発注日をセットしてください。

「EDI区分」 "1"を固定でセットしてください。

「発注区分」 "1"を固定でセットしてください。

「預かり買取り区分」 "2"を固定でセットしてください。

※"2"(買取り)をセット頂かないと仕入計上されませんので、ご注意ください。

「伝票区分」 出荷データ(手書)の場合は"20"、返品データの場合は"30"をセットしてください。

「総量店舗区分」 "2"を固定でセットしてください。

「便区分」 返品データの場合は"01"をセットしてください。

「店舗コード」 店舗マスタに存在しない値がセットされていると**エラー**となります。

※店舗マスタ⇒P1参照

「分類コード」 分類マスタに存在しない値がセットされていると**エラー**となります。

※分類マスタ⇒P1参照

「納入場所指定」・「物流センターコード」・「物流センター名称」・「DC区分」・「物流納品区分」は下記の表に従って、設定してください。

納入場所指定	物流センターコード	物流センター名称	DC区分	物流納品区分
"3"(大府ドライセンター)	"008001"	"オオフトライセンター"	"1"	"32"

■複数税率について

同一伝票内に異なる税率が混在しないようにデータ作成ください。

■明細項目設定時の注意点

「商品コード」 次の値がセットされていると**エラー**となります。

・ブランクがセットされていた場合

・数値化した値が0だった場合

・数値以外の文字列がセットされていた場合

「単位名称」 全角文字がセットされていると**エラー**となります。

「大分類」 大分類マスタに存在しない値がセットされていると**エラー**となります。

「商品名(カナ)」 全角文字がセットされていると**エラー**となります。

「規格」 全角文字がセットされていると**エラー**となります。

「発注数量(発注単位数)」 "000000"を固定でセットしてください。

「発注数量(バラ数)」 "000000"を固定でセットしてください。

「仕入先出荷数量(バラ数)」 返品データの場合は、返品数となります。この時、返品数・原価金額は**プラス表記**とします。

※符号つきでセットされていた場合は、エラーとなります。

「原価金額」 「仕入先出荷数量(バラ数)」×「原単価」をセットしてください。

※円未満切り捨て

■トレーラ項目設定時の注意点

「原価金額合計」 「原価金額」を伝票単位で集計した金額をセットしてください。